

●実務経験のある教員等による授業科目

総合エンタテインメント科

音楽ビジネスコース コンサート・ライブスタッフ専攻

	科目	1年	2年	3年	必修の別	授業形式	実務経験の有 無の別	実務経験授業 の時数
全 科 共 通 科 目	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ	54	51	51	必修	講義	○	156
	デビュー・就職実務Ⅰ	80			必修	講義		－
	デビュー・就職実務Ⅱ		53		必修	講義		－
	著作権		19		必修	講義		－
	PC実習	54			必修	講義		－
	選択授業	34	34	34	必修	講義		－
	異文化研究	15	15		必修	講義		－
	イベント制作実習A	129	118	118	必修	実習	○	365
	イベント制作実習B	311	311	311	必修	実習	○	933
専 門 科 目	デザイン実習Ⅰ	34			必修	実習		－
	番組制作実習	34			必修	実習	○	34
	舞台機構調整技能Ⅰ	36			必修	講義	○	36
	SNSマーケティング	36			必修	講義	○	36
	ライブマーケティングⅠ	36			必修	講義	○	36
	ビジネス経営学	53			必修	講義		－
	イベント企画制作実習Ⅰ	17			必修	実習	○	17
	イベント企画制作実習Ⅱ		34		必修	実習	○	34
	デザイン実習Ⅱ		34		必修	実習		－
	メディアプロモーション		34		必修	講義	○	34
	地方創生論		36		必修	講義	○	36
	ライブマーケティングⅡ		36		必修	実習	○	36
	雑誌編集・情報発信基礎		36		必修	講義	○	36
	ライブ制作実習		36		必修	講義	○	
	選択必修※「選択必修科目一覧表」参照			301	選択必修	科目による	科目による	－
合計	総授業時間数	923						
合計	総授業時間数		847					
合計	総授業時間数			815				
合計	総授業時間数							合計
卒業時最少時間		2585						1789

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	51/54 時間
対象学科	全学科	対象コース	全コース	

授業概要	日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィ、合同会社UNITY 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	80 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。 また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定			
------	---	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導①、新潟県について
2	社会人としてのルールの基本指導② 卒後やアルバイトで役に立つ労働法クイズ
3	第1編1章 メールについて①
4	第1編2章 メール発信のフィードバック、送付状の書き方①
5	第1編3章① 送付状の書き方フィードバック 就職につながるフジロック等アルバイト説明
6	第1編3章② 履歴書の書き方指導、前期期末試験(課題提出)について説明
7	第2編1章 コミュニケーション、敬語
8	第2編2章 コミュニケーション、敬語
9	第2編3章 ビジネス文書(社内・社外)、グラフ
10	第3編1章① 特別講師による講義・レポート提出
11	第3編1章② 特別講師による講義・レポート提出
12	第3編2～5章 社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
13	ジョブカードを使用した進路先確認① 特別講師による講義・レポート提出
14	ジョブカードを使用した進路先確認② 特別講師による講義・レポート提出
15	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
16	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
17	第3編2級課題慶事のマナーなど① 特別講師による講義・レポート提出
18	後期期末試験(課題提出)について説明、進級時特待の案内 特別講師による講義・レポート提出
19	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導
20	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶 (コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	53 時間
対象学科	全学科	対象コース	全コース	

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望：【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。 就職志望：I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
2	アーティスト志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談 就職志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
3	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望：履歴書作成（基本的な作成/志望動機/自己PRなど）
4	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：履歴書作成（基本的な作成/志望動機/自己PRなど）と提出
5	アーティスト志望：プロフィールシートの添削フィードバック 就職志望：履歴書・必要書類の添削フィードバック
6	アーティスト志望：①【活動報告書】の作成と提出 就職志望：①【活動報告書】の作成と提出
7	アーティスト志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
8	アーティスト志望：オーディション対策（自己PRの練習） 就職志望：面接対策（自己PR、志望動機の練習）
9	アーティスト志望：個別面談・フィードバック 就職志望：個別面談・フィードバック
10	アーティスト志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など 就職志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
11	「コミュニケーション検定」補講・検定
12	アーティスト志望：②【活動報告書】の作成と提出 就職志望：②【活動報告書】の作成と提出
13	アーティスト志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
14	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望：②面接対策（自己PR、志望動機の練習）
15	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー（内定者）
16	アーティスト志望：③【活動報告書】の作成と提出 就職志望：③【活動報告書】の作成と提出
17	アーティスト志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
18	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー（内定者）

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視聴&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	54 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	テキスト・問題集 (Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明	講義実施時期	後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	15 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)	講義実施時期	前期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	129 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	311 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)	講義実施時期	前期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	118 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	311 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デザイン実習Ⅰ		実務授業の有無	×
担当講師	塩田美月/阿部詠介		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽ビジネス科		総授業時間	34 時間
			対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要	Illustratorの基本操作を学び、HP、フライヤーデザインなど実践的な操作を目標とする。 検定取得に向けた演習問題の実施等。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①【基本操作】Adobeソフトについて
2	②【基本操作】Illustrator、Photoshop等のデザインソフトについて
3	③【基本操作】Illustrator基本操作の実践
4	④【基本操作】Illustrator基本操作の実践
5	⑤【基本操作】Illustrator基本操作の実践
6	⑥【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
7	⑦【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
8	⑧【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
9	⑨【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
10	①【デザイン】演習問題
11	②【デザイン】演習問題
12	③【デザイン】演習問題
13	④【デザイン】演習問題
14	①【デザイン】演習問題・検定用問題実践
15	②【デザイン】演習問題・検定用問題実践
16	③【デザイン】演習問題・検定用問題実践
17	④【デザイン】演習問題・検定用問題実践
18	【検定補講】演習問題・検定用問題実践
19	【検定補講】演習問題・検定用問題実践

教科書等	IllustratorクイックマスターCC・問題集 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	番組制作実習		実務授業の有無	○
担当講師	(株)BSNウェーブ 齊藤希		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽ビジネス科		総授業時間	34 時間
			対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要	ラジオ番組の制作を通じ、企画立案力・制作力・ゲストフッキング・業界体験・プロモーション力を学ぶ。 メインパーソナリティに吉本住みます芸人「いっすねー！山脇」氏を起用し、制作した番組は、「BSNラジオ」で「GGラジオ」として毎月最終日曜日25時～26時に放送します。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業の趣旨・意義・ラジオ媒体と放送業界の説明。 ①講師自己紹介 ②ラジオ業界について ③番組制作という仕事について ④制作スケジュール説明
2	①新2年生からの引き継ぎ ②各担当者決定。収録準備(スタジオ使用方法等)
3	先輩制作番組の確認、感想。GW前、説明と課題提示。□ ①収録準備(スタジオ使用方法等) ②企画会議 内容:番組制作に向けて(企画決め、SNS運用など)
4	GW明け5月分収録原稿作成、実践～指導
5	①5月分 番組収録
6	①5月分反省会、改善点のディスカッション ②キューシート記入 ③6月の放送に向けて企画会議
7	①5月分搬入作業 ②6月分内容決定、原稿作成。
8	①6月分原稿チェック、修正。 ②6月後半～8月末までのスケジュール説明。 9月後期授業開始にあたっての説明と課題提示。(CM作成 など)
9	①6月分 番組収録 ②キューシート記入 ③7月分番組企画内容決定～原稿作成。 ④8,9月の放送に向けて企画会議
10	①前期授業の振り返り ②番組新企画会議、課題の確認 ③後期授業説明 ④8月分内容決定,9月分内容確認。
11	①8月分反省会、改善点のディスカッション ②キューシート記入 ③9月の放送に向けて原稿確認
12	①9月分収録 ②10月の放送に向けて企画会議。 ③編集講座
13	①9月分収録の反省会&改善点のディスカッション ②編集課題の提示 ③10月分の内容決定。
14	①10月分原稿作成。 ②編集課題のチェック、修正
15	①10月分収録～編集課題 ②11月内容企画会議。
16	①10月分チェック～搬入&反省会 ②11月分企画決定 ③編集課題のチェック、修正
17	①11月分原稿作成 ②チェック&修正 ①12～3月スケジュール&内容確認 ②11月分収録 ③グラコンプロモーション企画会議 ①12月分番組内容決定 ②1～3月内容&原稿確認 ③スケジュール調整

教科書等	教科書は使用せず。ホワイトボード、PC画面投影等で行う。
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2018年に国際音楽エンタテインメント専門学校(当時)を卒業。 在学時からFM PORTのスタッフとして、番組制作に携わる。ラジオ業界8年目を迎える。 2020年6月末までFM PORTのワイド番組のディレクターを担当。 FM PORT閉局後、BSNウェーブに所属し、BSNラジオの各番組を担当中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	舞台機構調整技能Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽ビジネス科		総授業時間	36 時間
			対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要	前期は舞台音響調整技能士3級取得を目指す。試験問題解集に基づいて学科試験、実技試験(判断等試験)の対策を行いながら音響、照明、舞台の知識を身に付ける。 後期は学生自身が制作、オペレート、出演するLIVEを実施。校内の備品を使いながら実習を中心に行い進める。生徒にはそれぞれの作業を経験してもらい、お互いどのような気持ちや考え方でやっているか理解してもらいイメージを共有することも目的である。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【イントロダクション】舞台機構調整技能士3級試験について
2	学科試験対策(1. 舞台一般)
3	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
4	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
5	学科試験対策(3. 電気)
6	学科試験対策(4. 関係法規)
7	学科試験対策(5. 安全衛生)
8	ヒアリング試験(判断等試験)対策(楽器の名称、音について)
9	学科試験対策(過去問題)
10	まとめ(不足箇所重点)
11	音響基礎① モニター環境を整えてみよう(モニターから音を出してステージの中音を作る)
12	音響基礎② 基本的なバンドのセッティングを仕込もう(結線、回線チェック、マイキング等)
13	照明基礎① 基礎実習(機材説明、シュート、オペレート)
14	楽器の使い方 ギターアンプやベースアンプ等の説明 ドラムセットの名称や組み方 資料説明 セット図、タイムテーブル、回線表等の解説
15	LIVE発表に向けてミーティング 役割分担決めやセット図、タイムテーブル、回線表等の資料作成
16	リハーサル① LIVE発表に向けてリハーサル
17	LIVE発表① 作成したタイムテーブル通りに、仕込み→リハー本番→バラシの一連の流れをやってみる LIVE発表② 前回と同じことを別の役割で再度行う
18	1年まとめ 感想レポートと授業アンケート

教科書等	公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	前期: 試験結果: 60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40% 後期: 技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SNSマーケティング		実務授業の有無	○
担当講師	LEL株式会社（五十嵐・横木）		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	20
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサート・ライブスタッフコース

授業概要	
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	テーマ：SNSマーケティングの基礎 SNSの役割と重要性、各プラットフォームの特徴、アルゴリズムの基本を理解し、マーケティング戦略の全体像を把握する。
2	テーマ：SNS・ネットのトラブル、炎上について SNSの見る側、発信する側双方のネットリテラシーについて学ぶ。
3	テーマ：ターゲット設定とペルソナ設計 誰に向けて発信するのか？理想の顧客像を明確にし、フォロワーのニーズを捉えたコンテンツ作りの基礎を学ぶ。
4	バズる投稿の法則 エンゲージメントを高める投稿の要素、共感を生むストーリーテリング、拡散されやすいコンテンツの作り方を解説。
5	コンテンツの種類と活用法 画像・動画・テキストの効果的な使い分け、リール・ストーリーズ・ライブ配信の活用法、トレンドの取り入れ方を学ぶ。
6	投稿スケジュールと運用計画 最適な投稿頻度、曜日・時間帯の分析、コンテンツカレンダーの作成方法を解説し、一貫性のある運用を目指す
7	ハッシュタグ・SEO・アルゴリズム対策 適切なハッシュタグの選び方、検索される投稿の工夫、SNSアルゴリズムに最適化した運用テクニックを学ぶ。
8	データ分析と改善施策 インサイトの見方、KPI設定、分析結果を基にした改善施策を実践的に学び、PDCAサイクルを回す方法を解説。
9	実践ワークとSNS戦略のまとめ① 受講生をグループ分けし、各グループでSNS戦略を立案。SNSマーケティングの総復習と今後の運用指針を明確にする。
10	実践ワークとSNS戦略のまとめ② 立案したSNS戦略について、発表・フィードバックを行う。SNSマーケティングの総復習と今後の運用指針を明確にする。

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	LEL株式会社 Instagramアカウントを中心にSNSアカウントの運用企業。 「gatao_niigata」「kamakura.cafe」「gatao_niigata_bijo」等2.5万人以上のフォロワーアカウントを運営中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SNSマーケティング		実務授業の有無	○
担当講師	LEL株式会社（五十嵐・横木）		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	16
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサート・ライブスタッフコース

授業概要	
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	テーマ:ショート動画の特徴とアカウントの作成
2	テーマ:ショート動画企画作成
3	テーマ:ショート動画企画作成
4	テーマ:ショート動画撮影
5	テーマ:ショート動画撮影
6	テーマ:ショート動画撮影
7	テーマ:ショート動画撮影&投稿
8	テーマ:ショート動画投稿後の分析等まとめ
9	
10	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	LEL株式会社 Instagramアカウントを中心にSNSアカウントの運用企業。 「gatao_niigata」「kamakura.cafe」「gatao_niigata_bijo」等2.5万人以上のフォロワーアカウントを運営中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブマーケティングⅠ		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶/塩田美月(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽ビジネス科		総授業時間	36 時間
			対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要	コンサート・ライブビジネス、マネジメント、プロダクションの基本知識を学ぶ。エンタテインメント業界やイベント業界の仕組み・業界の仕事(職種)など、業界就職の目標となるべく業界知識を授業で習得する。音楽やイベントエンタテインメント業界のビジネスモデルを用いてマーケティングやSNS業界、あたらしいエンタテインメント業界についても知識を学ぶ。 前期には「SummerReview」後期には「GrandConcert」に向けての企画・制作・運営計画も含む。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	音楽・イベントエンタテインメントビジネスとは？「音楽・イベントエンタテインメントビジネス」とは何をビジネスにしているかの知識を学ぶ。
2	音楽・イベントエンタテインメントビジネスとは？「音楽・イベントエンタテインメントビジネス」とは何をビジネスにしているかの知識を学ぶ。
3	①アーティストマネージャー経験のある講師による、マネジメント、レーベル知識の週得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏)
4	②アーティストマネージャー経験のある講師による、マネジメント、レーベル知識の週得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏)
5	①業界特別講師による講義。現場実習に向けた制作知識の習得、実習先でのノウハウの習得。
6	②業界特別講師による講義。現場実習に向けた制作知識の習得、実習先でのノウハウの習得。
7	③業界特別講師による現場実習。
8	①アーティストグッズ、販促サービスについての知識を習得。
9	②アーティストグッズ、販促サービスについての知識を習得。
10	前期振り返り。ディスカッション・ワーク等、後期に向けた動機付け。
11	後期授業内容の説明、動機付けと前期のディスカッションを踏まえた振り返り。
12	③アーティストマネージャー経験のある講師による、マネジメント、レーベル知識の週得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏)
13	④アーティストマネージャー経験のある講師による、マネジメント、レーベル知識の週得 (ヒルクライム元マネージャー/吉原氏)
14	①業界特別講師による講義。現場実習に向けた制作知識の習得、実習先でのノウハウの習得
15	②業界特別講師による講義。現場実習に向けた制作知識の習得、実習先でのノウハウの習得
16	③業界特別講師による講義。現場実習に向けた制作知識の習得、実習先でのノウハウの習得
17	④業界特別講師による現場実習。
18	本授業の振り返り、ディスカッションとワーク、フィードバックでのまとめ。

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題・グループワークへの取り組み、レポート課題提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	登壇講師 NEWSURPRISE L.L.C. 吉原氏(元コンサルティング会社代表、過去にアーティストマネージャー経験あり) 株式会社ライブポート 東氏(現イベント会社代表。新潟県内で多くのイベント事業を手掛ける) 他企業を予定

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ビジネス経営学		実務授業の有無	×
担当講師	早稲俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	53 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要	簿記のテキストを使用し、仕事に役立つ取り引きの種類、売上総利益、損益分岐点などから精算表を作成し損益計算書及び貸借対照表の見方まで学び、実際の数値入力練習から、知識のレベルアップを図る。また理解度向上の為毎週確認テストを実施 授業展開は自作のPPとテキストを併用
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、損益計算書・貸借対照表の説明。 上記確認テスト
2	動機付け、損益計算書・貸借対照表の説明。 上記確認テスト
3	商品売買の種類、現金と通貨代用証券について① 上記確認テスト
4	商品売買の種類、現金と通貨代用証券について② 上記確認テスト
5	小口現金の取り扱いについて 上記確認テスト
6	手形と貸付金・借入金 上記確認テスト
7	その他の債権債務、その他消耗品等の費用について 上記確認テスト
8	商品有高帳①先入先出法(売上総利益・原価率) 上記確認テスト
9	商品有高帳②移動平均法 上記確認テスト
10	貸倒れと貸倒引当金① 前期評価テスト
11	貸倒れと貸倒引当金② 上記確認テスト
12	固定資産と減価償却費① 上記確認テスト
13	試算表①/試算表② 上記確認テスト
14	法人税・消費税 上記確認テスト
15	精算表①(棚卸減耗損・商品評価損についても)/精算表②/精算表③ 上記確認テスト
16	損益分岐点説明・練習、グラフ作成
17	資金繰り表作成①
18	後期評価試験 資金繰り表作成②

教科書等	スッキリわかる日商簿記3級 授業形態／PPを使用しての対面授業
成績評価	授業内小テスト40%、期末試験40%、出席率20% S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント企画制作実習		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	
			前期・後期	
対象学年	1 年		必修・選択	
			必修	
対象学科	音楽ビジネス科		総授業時間	17 時間
			対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要	オープンキャンパス、学校・外部イベント、柳都オレンジスタジアム、キョードー北陸などをはじめとしたインターンシップへの参加と自主企画イベントの運営を実践を通して学習する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	インターンシップ・イベント企画などの実施
2	インターンシップ・イベント企画などの実施
3	インターンシップ・イベント企画などの実施
4	インターンシップ・イベント企画などの実施
5	インターンシップ・イベント企画などの実施
6	インターンシップ・イベント企画などの実施
7	インターンシップ・イベント企画などの実施
8	インターンシップ・イベント企画などの実施
9	インターンシップ・イベント企画などの実施
10	インターンシップ・イベント企画などの実施
11	インターンシップ・イベント企画などの実施
12	インターンシップ・イベント企画などの実施
13	インターンシップ・イベント企画などの実施
14	インターンシップ・イベント企画などの実施
15	インターンシップ・イベント企画などの実施
16	インターンシップ・イベント企画などの実施
17	インターンシップ・イベント企画などの実施

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	報告書の提出80%、実践および活動意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミグ】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント企画制作実習		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶	講義実施時期	前期・後期	
			必修	
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要	オープンキャンパス、学校・外部イベント、柳都オレンジスタジアム、キョードー北陸などをはじめとしたインターンシップへの参加と自主企画イベントの運営を実践を通して学習する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	インターンシップ・イベント企画などの実施
2	インターンシップ・イベント企画などの実施
3	インターンシップ・イベント企画などの実施
4	インターンシップ・イベント企画などの実施
5	インターンシップ・イベント企画などの実施
6	インターンシップ・イベント企画などの実施
7	インターンシップ・イベント企画などの実施
8	インターンシップ・イベント企画などの実施
9	インターンシップ・イベント企画などの実施
10	インターンシップ・イベント企画などの実施
11	インターンシップ・イベント企画などの実施
12	インターンシップ・イベント企画などの実施
13	インターンシップ・イベント企画などの実施
14	インターンシップ・イベント企画などの実施
15	インターンシップ・イベント企画などの実施
16	インターンシップ・イベント企画などの実施
17	インターンシップ・イベント企画などの実施

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	報告書の提出80%、実践および活動意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミシング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	Photoshop検定講座		実務授業の有無	○
担当講師	藤崎 哲弥	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要	Photoshop検定の対策講座。 前期では後期の問題集を解くための対策や基本的な使い方を覚えます。 実際にSNS等で見かけるコラージュ等の作品を通してより実践的に面白いツールであることを理解します。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	■イントロダクション Photoshopの紹介・SNS等での使用事例・UI・ショートカットなどの紹介
2	■猫コラージュを通して基本操作を学ぶ 画角の設定・色調補正・選択ツールの使い方などの基礎的な操作方法を覚える。
3	■猫コラージュを通して基本操作を学ぶ 画角の設定・色調補正・選択ツールの使い方などの基礎的な操作方法を覚える。
4	■猫コラージュ2を通して基本操作を学ぶ マスク・レイヤー・パスツールを理解する。
5	■猫コラージュ2を通して基本操作を学ぶ マスク・レイヤー・パスツールを理解する。
6	■ネットミームを通して、特殊効果ツールを理解する。 文字、図形等の作成・グラデーションツールを理解する
7	■教科書を通して改めて基本用語・出題の内容を理解する。 基本操作を覚えた上で教科書出題を解説していく。
8	■教科書を通して改めて基本用語・出題の内容を理解する。 基本操作を覚えた上で教科書出題を解説していく。
9	■教科書内の出題を解いてみる 基本操作を覚えた上で教科書出題に挑戦・不明箇所を解説する。
10	■実技・実践問題集part1 実技・実践問題へ挑戦。
11	■実技・実践問題集part1 回答解説
12	■実技・実践問題集part2 実技・実践問題へ挑戦。
13	■実技・実践問題集part2 回答解説
14	■休憩・名刺・コラージュ作品を作ってみる 自発的な制作を通して、問題集を解くだけでなく実践的な制作・創作感を体感する。
15	■実技・実践問題集part3 実技・実践問題へ挑戦。
16	■実技・実践問題集part3 回答解説
17	■実技・実践問題集part4 実技・実践問題へ挑戦。
18	検定補講

教科書等	Photoshop教科書・問題集 問題集冒頭ページなどに書かれている規定のフォントはダウンロードしておくこと。
成績評価	各作業進捗20%、授業態度および学習意欲80% 授業を重ねるごとにできることが増えていることが大事です。 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ECサイト・WEBデザインの業務に3年従事。 個人でもコラージュ作品を制作してNFTなどを通じた現代的な作品掲示をしている。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	メディアプロモーション		実務授業の有無	○
担当講師	SWAMP		講義実施時期	前期・後期
対象学年	2	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽ビジネス科		総授業時間	34 時間
			対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動画上映「自己紹介・プラン発表」生徒同士のコミュニケーションを図り、自己紹介資料の作成
2	自己紹介、年間スケジュール決め、チーム作り、焚街音の内容決め
3	昨年のライブ映像編集、SNSの動画アップについて議論、4月中にアップ
4	動画編集、アップの日程を決める
5	グッズについてアイデア出し、動画編集
6	イベントのミーティング開始 レコーディング風景動画を編集
7	出店者募集について
8	イベント準備
9	イベント準備
10	イベント準備
11	焚街音 動画確認、反省会
12	動画編集編集、次回のコンテンツ案だし、レポート作成
13	動画編集編集、次回のコンテンツ案だし、レポート作成
14	動画編集編集、次回のコンテンツ案だし、レポート作成
15	動画編集編集、次回のコンテンツ案だし、レポート作成
16	動画編集編集、次回のコンテンツ案だし、レポート作成
17	授業のまとめ

教科書等	なし プロモーション計画、動画制作、イベント制作を実務を通して習得。
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ラジオパーソナリティーのキャリアを積みイベントMC（司会）や商品開発、プロデュースなど幅広い分野で活動を広げる。作詞やライブパフォーマンス、CDリリースなど音楽活動も手がけるRAPアーティストでもあり、RAP(フリースタイル)が認められMCバトルでは数々の優勝経験をもつ。大手飲食店とのコラボメニュー開発、「新潟ラーメンバトル」のプロデューサーでもある。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音楽ビジネス科		実務授業の有無	○
担当講師	齋藤 和利	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2年	総授業時間	36	時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要	新潟の文化・歴史・地理・メディア等の現場に出かけ学ぶ。音楽の力についてDVD等を視聴しながらミュージシャンが世界日本そして新潟に与えた影響等を学ぶ又、社会人としての心得、教養等一般常識も学ぶ。学生が希望する授業リクエストも受付ける。学生との対話を軸に学ぶ力と実行に移す力の両方を鍛える。基本全ての講座で感想とレポートを求める。講座がどんな意義、価値を持ったのか考える双方向方式。自力で考える力とそれを実行する力の両方を身につけて貰う事が目標。→地方創生論
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業ガイダンス(講座について、自己紹介、曼荼羅チャート)自分の課題を曼荼羅チャートで表現し今後の目標を明確化して必ず達成出来る様にする。
2	新潟の歴史文化概論(BSN制作アーカイブスDVD視聴 新潟今昔物語)新潟の街の成立ちや文化風土を学び直す。特に新潟に日本一が多いが殆ど知られていない知ろうとしない新潟人気質を考える。
3	新潟偉人伝視聴(坂口安吾と新潟の文化と気候風土)坂口安吾が再び世界中で戦争が過激化する中で脚光を浴びて来ている。ふるさと新潟が生んだ不世出の天才の実像に迫り学生に真の姿を知って貰う。
4	新潟偉人伝視聴(水島あやめ 日本初の女性シナリオライター)何故新潟から日本初のシナリオライターが生まれたのか考える。新潟の女性が県外で評判が高いのは何故か？彼女を通じて越後女性の個性生き方を考える。
5	新潟放送社屋とスタジオ見学→BSNはラジオ・テレビ両方の媒体を持つ県内唯一の放送局でありホールディング化した多角的企業集団でもある。放送の仕組みと企業や会社とは何か基本を学ぶ。
6	NST社屋スタジオ見学(現場アナウンサー&ディレクターの話)テレビの制作現場を説明を受けながら訪問。新潟県は早い段階で放送免許が下りたが当時の田中角栄副総大臣の力が大きい。放送の現場視察と共に新潟メディアの特徴や放送免許許認可制度の基本も学習する。SNSやAIに繋がるメディアの成立ちから次世代へ電波の有効利用、AIへ繋がるGAFAMと云われるアメリカの巨大企業は何故世界を席捲してしまったのか？共に考える。
7	新潟地方裁判所見学(18才からの裁判員裁判制度について学ぶ)日本の裁判制度が変わって時間が経過したが問題点も出て沢山出て来た。まずは裁判員裁判制度の内容説明を裁判所員から受ける。実際の裁判を傍聴し感想レポートを提出予定。
8	新・新潟駅周辺の新潟の街の歴史について現場で学ぶ→知っている様で知らない新潟駅周辺の成立ちと歴史を現場に向かいて実感する。町は何故に発生し発展してきたか？日本の町の成立過程にも繋がる講座。
9	新潟最古の料亭 行形亭女将から芸妓文化 接待文化を学ぶ→江戸時代元禄のころ創業の行形亭には様々な文化遺産があり古い新潟の町を知ることが出来る。庭も広大で家屋に有形文化財もある。学生と共に新潟の老舗興隆の為のイベントを共同で出来ないか学生に考えて貰う。
10	料亭 大橋屋の文化財視察 今に残る伝統建築 文化財を見る→1866年創業の老舗料亭大橋屋は新潟奉行川村修就の屋敷を買い取ったことから始まる。本館は料亭には珍しく国の登録有形文化財になっている。女将の説明を交えて新潟下町の歴史や文化世界遺産になった佐渡との関わりを学び。本町の歴史そして今若者にも人気の秘密 経営戦略について共に学ぶ。
11	最大の宴会場を持つ新潟屈指の料亭鍋茶屋見学→日本全国にその名が知れた鍋茶屋は創業1846年創業。幾多の困難、近年はコロナ禍を乗り越えて古町課外共に復活を遂げた。古来多くの文化愚客にも愛されてきた。周辺は鍋茶屋通りと呼ばれ新潟の伝統文化を伝え近年多数の観光客も訪れる新潟の名所になっている。学生達に触れて貰い学生のアイデアを引き出したい。
12	旧新潟に残る7神社を巡り北前船が運んだ文化を学ぶ→神社数日本一の町新潟には何故神社が多いのか謎に迫る海と川と稲作に恵まれた新潟越後には昔から神社が多かった。明治維新の廃仏毀釈が起こっても全国レベルに比較して減少は少ない。稲荷町周辺に残る神社を巡ね神主の説明を聴き新潟の文化を考える。
13	新潟に残る文化遺産を巡る→歴史博物館みなとピア周辺の信濃川左岸を散策する、日和山登山や旧遊郭跡などを巡る。新潟の文学者ゆかりの地を併せて散策高い文化レベルを持っている新潟再発見。
14	音楽のカーボディランのDVDを通じて自由と民主主義を学ぶ→ボブディランは2016年音楽界から初めてノーベル文学賞を受賞した何故か？彼の半生を視聴すると文学と音楽の関係、ジャーナリズム、報道の自由、政治、経済 音楽プロダクション、著作権の話など様々な概念が浮かび上がってくる。ボブディランをベースにして今に生きるシステムを生徒共に考える
15	音楽のカービートルズが世界中に与えた計り知れない影響をDVD視聴しながら学ぶ。今当たり前のファッションや髪型或いはコンサート会場での人種差別の撤廃はすべてビートルズから始まる。アイドルグループ映画もしかり何故ビートルズはこんな力を持ちえたのか学生と共に考え時代を振り返る。
16	音楽のカージャズと何？(ジャズの発生と人種差別の歴史を学ぶ)新潟の町とジャズの関わりは深いデュークエリントンは新潟地産の際に多額の義援金を新潟市に寄付した。またジャズ喫茶やジャズバーも以前は多かった新潟の町の移り変わりやジャズの歴史を合わせて学ぶ。
17	音楽のカーアイドルとポップスの発生(日本のサブカルチャーが世界に影響を与えた)日本で発生したオタク系音楽やアニメの主題曲などで新潟は多くの関わりがある。サブカルチャーの源、新潟との関係性などを学生と共に考える。
18	社会人としての心得とマナーについてテスト&レポート提出する。→今までの講座の感想、質問について答える。
19	通期授業のまとめ (質問と対話 進路相談等)前回のテスト&レポートの採点と答え合わせしながら学生から社会人への道をレクチャーする→最終評価。

教科書等	音楽ビデオ、DVD等他各講座で資料テキスト作成 ☆ 課外授業については新潟県庁や他企業も候補あり
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟放送役員退職後 、青陵大学他講師他講演経験。 現在「会津八一秋州会会員」「安吾文学記念館建設推進実行委員」「関東民放クラブ新潟支部常任幹事」他

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブマーケティングⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	椎葉克宏		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽ビジネス科		対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要	アーティストマネージャーとしてヒットを産むための知識とイメージ力、発想法を学ぶ。 近年のヒットの同行を研究し、ルーツを探るとともに、AIを用いて仮想楽曲の生成も実習する。
------	--

授業計画		
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など	
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 【仮想マネージャー①】タレントのイメージを考える。 これからどんなタレントが人気になるか。人気になると思うタレントのプロフィールを考える。	4月9日
2	【仮想マネージャー②】ビジュアルを作る。 自分が担当するアーティストのビジュアルをAIを利用して作る。	4月16日
3	【仮想マネージャー③】デビュー曲を作る。 自分が担当するアーティストのデビュー曲をAIで作る。	4月23日
4	【ポップス研究①】80～90年代のヒット曲	5月7日
5	【ポップス研究②】90～00年代のヒット曲	5月14日
6	【ポップス研究③】00～10年代のヒット曲	5月21日
7	【ポップス研究④】10～20年代のヒット曲	5月28日
8	【仮想マネージャー④】デビュー曲の修正	6月4日
9	【仮想マネージャー⑤】プロモーション計画～SNS活用のルール	6月11日
10	【仮想マネージャー⑥】新人お披露目会開催	6月18日
11	【マネジメントゲームを作る①】	9月3日
12	【マネジメントゲームを作る②】	9月10日
13	【マネジメントゲームを作る③】	10月1日
14	【マネジメントゲームを作る④】	10月15日
15	【マネジメントゲームを作る⑤】	10月22日
16	【マネジメントゲームを作る⑥】	10月29日
17	【マネジメントゲームを作る⑦】授業のまとめ／マネジメントで心がけること	

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	株式会社コロンブスコミュニケーションズ入社（S60年4月～S61年10月） 株式会社勤文社 ビデオ事業部（S61年10月～S62年3月）「月刊デ・ビュー」副編集長（H5年1月～H8年1月） オリコン株式会社に転籍 「キッズスタイル」事業部長（H14年7月～H19年7月）「オリジナルコンフィデンス」兼任編集長 令和2年4月 京都芸術大学映画学科、昭和音楽大学音楽表現学科、日本経済大学芸創プロデュース学科、代々木アニメーション学院の非常勤講師として勤務 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会ライブ・エンタテインメント・ラボ客員研究員

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	雑誌編集・情報発信基礎		実務授業の有無	○
担当講師	風間彰充		講義実施時期	前期
対象学年	2	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽ビジネス科		総授業時間	36 時間
			対象コース	コンサートライブスタッフコース

授業概要	情報誌、ウェブというメディアの役割を理解し、それらが作られ、世の中に情報を発信するまでの一連の流れを学んでいく。また、新潟という地域におけるローカル雑誌やウェブメディアの重要性を学び、情報を発信をすることでユーザーの行動を促すことや、それ自体が地域を活性化させていく仕事の一端であることを理解してもらう。1回の講義では、基本的に1コマは座学、もう1コマでは実際に雑誌やウェブ記事の制作に必要な業務（企画・取材・インタビュー・写真撮影・原稿作成・校正等）を想定しての実務作業を行う。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【イントロ】→講義の概要、目的を説明【雑誌・ウェブメディアの基礎知識】→どうやって成り立っているかを知る【雑誌・ウェブメディアの役割】→雑誌メディアのニーズや世の中における役割などを学ぶ【雑誌・ウェブメディアができるまで】→雑誌が作られるまで、情報が発信されるまでの流れを学ぶ
2	【雑誌・ウェブメディアの企画・特集などの立案について】→「雑誌の企画や特集記事などどのようにして作られるのか？」読者のターゲットニング、そのニーズやトレンドに合わせた企画立案を学んでいく【実践】→雑誌のコンセプトや特集などを決める企画のディスカッションをやってみる
3	【具体的なページコンテンツ出し・取材候補策定】→「具体的な特集やページのコンテンツはどのようにして作られるのか？」雑誌のコンセプトに沿って、具体的なページを想定していく【実践】→「実際に何を掲載するか？」をディスカッションする。そしてページコンテンツ出し・取材候補をリストアップしていく
4	【取材について】→「実際の取材はどのようにして行なわれているか？」アポイントの基本、取材相手から大事な話を引き出すにはどうしたらよいのか【実践】→インタビュー。テーマを決めて、交互にインタビューをする
5	【原稿書きについて①】→「原稿を書く時の基本とは？」説得力のある文章の書き方。分かりやすく、メッセージを伝える方法など【実践】→実際に原稿を書いてみる
6	【原稿書きについて②】→雑誌とウェブにおける書き方の違い【実践】→実際に原稿を書いてみる
7	【写真撮影について①】→「雑誌やウェブにおける写真の重要性と、その基本とは？」どんな写真がよいのか？写真が持つ意味、よい写真の基本的な撮り方を学ぶ【実践】→可能な限り、カメラで撮影をする
8	【写真撮影について②】→スマートフォンを使い、街に出てカメラで撮影をする
9	【前期のまとめ・実践】→前期の学びを踏まえ、テーマを決めて実際に取材や写真撮影、原稿書きを行う
10	【実践】→インタビュー。テーマを決めて、交互にインタビューをする
11	【原稿書きについて①】→「原稿を書く時の基本とは？」説得力のある文章の書き方。分かりやすく、メッセージを伝える方法など【実践】→実際に原稿を書いてみる
12	【原稿書きについて②】→雑誌とウェブにおける書き方の違い【実践】→実際に原稿を書いてみる
13	【原稿書きについて②】→雑誌とウェブにおける書き方の違い【実践】→実際に原稿を書いてみる フィードバック
14	【写真撮影について①】→「雑誌やウェブにおける写真の重要性と、その基本とは？」どんな写真がよいのか？写真が持つ意味、よい写真の基本的な撮り方を学ぶ
15	【実践】→可能な限り、カメラで撮影をする
16	【写真撮影について②】→スマートフォンを使い、街に出てカメラで撮影をする
17	【前期のまとめ・実践】→前期の学びを踏まえ、テーマを決めて実際に取材や写真撮影、原稿書きを行う
18	振り返り・フィードバック

教科書等	毎回、資料を用意する
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟の情報誌「月刊にいがた」および、新潟のローカルWEBメディア「日刊にいがたWEB」を発行・運営する株式会社ジョイフルタウンの業務推進部 副部長。編集ディレクター、インタビュアー、ライター、カメラマン。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	雑誌編集・情報発信基礎		実務授業の有無	○
担当講師	風間彰充		講義実施時期	後期
対象学年	2	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽ビジネス科		総授業時間	18 時間
			対象コース	

授業概要	情報誌、ウェブというメディアの役割を理解し、それらが作られ、世の中に情報を発信するまでの一連の流れを学んでいく。また、新潟という地域におけるローカル雑誌やウェブメディアの重要性を学び、情報を発信をすることでユーザーの行動を促すことや、それ自体が地域を活性させていく仕事の一端であることを理解してもらう。後期はより実践的な授業を展開。情報誌『月刊にいがた』を活用し、学生たちが自ら企画、取材、編集までを行い、情報発信の現場を体験してもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【雑誌内での企画会議①】→後期の最大の目的である情報誌「月刊にいがた」を使つての学生たちによるタイアップ特集についてのキックオフミーティング
2	【雑誌内での企画会議②】→情報誌「月刊にいがた」でのタイアップ特集についてのミーティング。企画内容の大枠を固める
3	【雑誌内での企画会議③】→具体的な企画内容、取材先のリスト確定、どのような体制で取材を進めるかを決定する
4	【企画の実行①】→取材先へのアポイント、取材、撮影を行う
5	【企画の実行②】→取材先へのアポイント、取材、撮影を行う
6	【企画の実行③】→取材した内容を元に原稿を作成する
7	【企画の実行④】→作成した記事、月刊にいがたに掲載する誌面に間違い等がないかの校正確認。また、取材先への内容の確認作業を行う
8	1年間の学びについて。授業を通して自分が学んだこと、気づいたことをまとめ、レポート提出を行う
9	
10	

教科書等	毎回、資料を用意する
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟の情報誌「月刊にいがた」および、新潟のローカルWEBメディア「日刊にいがたWEB」を発行・運営する株式会社ジョイフルタウンの業務推進部 副部長。編集ディレクター、インタビュアー、ライター、カメラマン。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブ制作実習		実務授業の有無	○
担当講師	吉本興業(酒井/各担当講師)	講義実施時期	前期・後期	
対象学年		必修・選択	必修	
対象学科	2 年	総授業時間	36	時間
対象コース	音楽ビジネス科	対象コース	コンサート・ライブスタッフコース	

授業概要	
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	エンタメ業界について ①イベントへの動機付け、オリエン ②芸人さんをもとにどんな仕事があるか考える。 講師: 関田将人氏
2	イベント妄想/グループワーク(グループ決め) ①グッズ、キャスト(5組)希望など、条件に沿った話し合い ②グループ発表会→ワクワクを残して制作授業
3	イベント企画の研究 作家・芸人とライブ構成研究 ①発想法②ライブ構成(お笑いライブ企画はどんなものがあるの?) 講師: 作家 ワクサカソウヘイ氏
4	ライブ制作について ①仕事内容について②ライブ制作で必要なこと。 講師: 制作会社 藤田義博氏
5	チケットシステムについて ①FANYチケットについて ②チケット仕組みについて自社で行っている部分を説明。 講師: 株式会社FANY 井上博継氏
6	12月イベント企画 ①イベント企画会議 ②プロモーションプラン作成
7	グッズ制作 コラボグッズ制作 講師: 株式会社プラスワン中川氏
8	グッズ制作 コラボグッズ制作 講師: 株式会社プラスワン中川氏
9	グッズ制作 コラボグッズ制作 講師: 株式会社プラスワン中川氏
10	①SNSプロモーション ②チラシ作成 ①チカコホンマのSNS講座(SNS発信について)発信のタイミング、必要な情報で何? グループワーク: パ ナー作成 →アドバイス ②イベントのチラシ作成 ※宣材入れ込み。 グループワーク: 時間を決めて発表まで行う。
11	プロモーション、チケット発券 ①メディアプロモーション、役割決め ②チケット発券(オーダー)
12	台本制作 ①②台本制作 講師: 作家 ワクサカソウヘイ氏
13	舞台進行 ①進行確認(キュー出し)確認 ②実践
14	舞台進行 ①進行確認(キュー出し)確認 ②実践
15	12/14 イベント準備/ステージ進行確認(リハ・当日の流れ確認)
16	12/14 イベント準備/ステージ進行確認(リハ・当日の流れ確認)
17	12/14 イベント準備/ステージ進行確認(リハ・当日の流れ確認)
18	12/14 イベント準備/ステージ進行確認(リハ・当日の流れ確認)

教科書等	なし その会ごとに吉本興業のステージ手掛けるプロが講師。 12月14日に実施する有料のイベントステージを構成から制作、当日運営までを実務で学ぶ。
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	・吉本興業(株式会社FANYなど) 各セクションスタッフ ・芸人: 関田将人、チカコホンマ ・作家 ワクサカソウヘイ ・制作会社 藤田義博